

## 時代の求めるリーダーへ投資!

### ●浦高同窓会・初の常任理事会へ!

今日は午後3時半から浦高・麗和会館にて「浦和高等学校同窓会・第二回常任理事会」が開催されました。今年5月の総会で常任理事の一人として認められた私にとっては初の常任理事会、かなり緊張して出席させていただきました。今回は会長以下18人が参加しましたが、議題は、2015年の浦高創立120周年に向けて記念事業として「奨学金制度」を確立するための会議でした。

最初に今夏のミシガン大学サマースクールに参加した3人を代表して3年生のS田君から報告がありました。

\*

◆S田君「今年7月7日から2週間、ミシガン大学のサマースクールに参加させていただきました。私が受けたのは Surface Chemistry (表面科学)です。教授による講義、学生によるプレゼンテーション、実験と経験しましたが、特に印象に残ったのはプレゼンテーションです。教授から課題が与えられて、各自が2週間の間に二回のプレゼンテーションを行うのですが、各自がインターネットや本を使って調べ、パワーポイントを使ってプレゼンテーションを行うのですが、多くの情報の中から適切な資料を選択して英語で組み立てるといのはとても良い勉強になりました。また、日常生活ではスポーツやトランプ遊びなどを通じて文化的な交流もできました。最初は英語が聞き取れずに苦労をしましたが、単なるホームステイではなく、世界各地から着た同世代の人たちと一緒に授業を体験できたことが良かったと思います。こうした機会を与えてくださった学校や同窓会の皆様に感謝申し上げます。」と、立派な報告でした。続いて、同窓会の皆さんからの質問。

◇Nさん「プレゼンで大変だったことはどんなこと?」

◆S田君「自分の言葉で言えたことです。」

◇Kさん「表面化学を選んだ理由は?」

◆S田君「理系を志していて、面白いと思った。」

◇Kさん「クラスの仲間は?」

◆S田君「16人の中でアメリカ人が11人、4人が韓国人、日本人は1人で、全体としてもアメリカ人が半分以上、2/3が韓国人、日本人は浦高生3人だけでした。」

◇Iさん「今回の体験を1分間スピーチで。」

◆S田君「聞き取りは出来ても、話す機会が無いので難しいです。」

\*

最後の質問は、S田君には予想外でちょっと厳しかったのではないのでしょうか? いずれにしても良い経験をしてきたことは間違いのないようです。

常任理事会が始まりました。最初に、川野同窓会会長のご挨拶。「今日はお忙しい中、お集まりいただき感謝申し上げます。私の記憶ではこうした形での常任理事会というのは初めてだと思います。常々、組織はリーダーによって決まるとは思っていますが、そんな中で日本の状況を考えますとリーダーの役割というものがとても大きいことが分かります。そして、世界に通用する、グローバルな世界で活躍できる人材、リーダーを育てていくことが大切であります。グローバル社会の中では、海外で働ける人材、海外から企業を誘致できる人材というのが必要であり、関根校長も良くおっしゃっていますが、浦高は公立高校にあっても世界に通用する人材、世界のリーダーを育成するという大きな目標をもっていると思います。そのために、**在学生達の留学に対する奨学金制度が一つの目標**であります。もう一つは、失われた20年、さらにはこれからの高齢化を考えますと、経済の活性化はそう望まれないものと思います。そんな中で浦高生にあっても経済的に大学を断念するような生徒が出てくことということも考えられます。そうした**生徒達を経済的に支援できるような奨学金制度**を2年後の創立120年記念事業として実施していきたいと思います。7月から検討委員会を開き、さまざまな検討を行っていただいた結果を提案しますので、ぜひ、皆様の忌憚りの無いご意見をいただきたい。」

続いて関根浦高校長のご挨拶。「同窓会の皆様にはさまざまな面からのご支援ありがとうございます。先ほど報告をしてくれたS田君を含めて3名がサマースクールに参加してさまざまな刺激を受けてきました。また、イギリス・ホイットギフト校【写真①】との交換留学の学生についても昨年は選考ゼロでしたが、今年は10名が手を挙げ、現在2名にまで絞り込まれています。できれば来年度の留学生は2名

を出したいと思っています。現在は1名分を全額先方で負担していただいておりますが、2名となると自己負担になると思いますので、一部でも



同窓会のご支援がいただけるとありがたいと思います。浦高が始めた海外留学のシステムですが、さらに太いものとしていきたいと思っています。そして世界と闘っていける学生を育てていきたいと思えます。それが本校にある財産を生かしていける道だとも思います。学生達の成長する芽はありますので、いろいろな形でのご支援をいただければ幸いです。」

＊

## ●奨学金制度などの議題

お二人のご挨拶でいただいたの議題の提案趣旨が分かりました。そしていよいよ議題です。

＊

### 議題 1. 奨学金制度について

#### ◆奨学金制度の目的

在学学生及び卒業生で成績優秀かつ向学心を有する者に対して奨学金を貸与及び給付することを目的とする。特長としては、グローバル社会で活躍する人材の育成という視点での協力を行う。

#### ◆奨学金の交付

海外でのサマーセミナーなどへの派遣支援、経済的事由で支援の必要とする者への支援などの場合において奨学金を支給または貸与を行う。

#### ◆奨学金の限度額

支給（将来返済無し）と貸与（将来返済有り）を合わせて、今後年間上限額を確定していく。

#### ◆募集目標金額見積

貸与については10年間据え置きとし、その後に返済された資金を積み立てていくことで計算するとだいたい21年目で収支が均衡する。

#### ◆募集目標金額

5,000万円

＊

### 議題 2. 公益財団設立について

#### ◆一般財団法人設立

来年の総会に向けて「一般財団法人 県立浦和高等学校同窓会奨学財団定款（案）」を詰める。

#### ◆公益財団法人設立

一般財団法人を設立し、その後に公益財団法人への移行を前提として作業を進める。

#### ◆財団法人設立に向けた財源の確保

浦高同窓会財産の中から、母校支援引当資産や記念事業引当資産を活用する。

＊

上記の件について約1時間半にわたり常任理事の皆さんからさまざまな意見が出されましたが、川野同窓会会長を中心として常任理事全員で推し進めていく創立120年記念事業として2議案が全会一致で承認されました。

私にとって初めての常任理事会でしたが、グローバル社会の中で世界に通用するリーダーを生み出すために同窓会が学校（在校生や卒業生たち）を支援するという高い理想のもとに事業を進めようという会議に出られただけでも嬉しいことです。

恥ずかしながら今日までは常任理事の皆さんが集まり、こんなに真剣な話し合いが進められていることさえ知りませんでした。認識不足でした m(\_ \_)m

＊

## ●若い人たちを同窓会の力に！

続いて「麗和知的財産委員会」の進捗状況が委員長のTさんから報告されました。

＊

- ①百周年以降の年表原稿のデータベース化
- ②百周年記念誌『銀杏樹』の「百花繚乱」の充実
- ③機関誌『麗和』と同時に進行状況の発表
- ④年6回の委員会開催
- ⑤「麗和会会員の著作物コーナー」の設置
  - ・関連する資料の保管
  - ・麗和会の諸活動を対外的にアピールする
- ⑥120周年記念事業のサポート

＊

こうした活動を他人事として考えていましたが、無償の仕事に汗を流されていらっしゃる方々の話を伺い、本当に頭の下がる思いがしました。委員のNさんからは、委員の若返りが提案されました。知的財産を継承していくためにも、智恵と技術、さらに感性を伝えていくことの大切さを感じました。

さらに、同窓会会館・麗和会館の空調設備更新計画の支出も全会一致で承認されました。

最後に事務局長の鯨井さんから「同窓会ホームページ」をNetCommonsで立ち上げることの提案がありました。今年、事務局長が交替され、さまざまな事が変わりつつありますが、来年の春には新しいホームページが見られるようです。楽しみです。

＊

## ●少しずつ「Mr. 浦高さん」に近づく！

ちょうど13年前、春日部地区浦高会・現会長のMさんから「春日部地区で浦高会を立ち上げるので手を貸して…」との声を掛けていただき、30年ぶりに浦高生であったことを思い出した私ですが、それから地域同窓会に関わり、春日部地区浦高会の「Mr. 浦高さん」ことT副会長に誘われてさまざまな勉強会に参加させていただき、修行を積みさせていただくとともに、多くの方々を知ることができ人脈が広がりました。

そして今年の春に同窓会事務局のKさんから「同窓会全体の常任理事に手を挙げてほしい」との声を掛けていただき、自分に何が出来るか…と悩んだのですが、非才・非力にご容赦いただき、自分にできそうなことを探していこうと考えて常任理事の末席に座らせていただきました。

初めての常任理事会では、まだまだ自分の立場や役割というものが理解できませんでしたが、自分が取り組めそうな事がぼんやりと見えた気がします。知的財産委員長のTさん達からは、「これからの2年間は、自分達が伝えられるものを皆さんに伝承する時期」と言われています。私も早く「Mr. 浦高さん」に近づければと思いました。(^^;)